

中野中学校区地区懇談会ニュース

第24号
2025年9月
中野中学校区
地区懇談会事務局



★年間テーマ「世代をこえて集える地域」

第1回 テーマ 「地域ネットワークに求めるもの」

2025年度第1回地区懇談会を中野中学校にて7月8日(火)に開催しました(参加者40名)。

今年度は、昨年度まで実施していた運営委員会を行わないため、代表・副代表をはじめ全メンバーの方々より事前にアンケート等でご意見・ご要望を伺いながらの実施となりました。合理的に進めていけるところは合理化し、丁寧にするところは大切にしながら中野中学校区地区懇談会を有意義な場にしていければと思います。

懇談に先立ち、代表・副代表の選出、及び要綱、テーマ等について確認しました。

「地区懇談会とは…」

子どもの育ちと子育て家庭を支える地域づくりのため、中野区の要綱に基づき中学校区ごとに設置されています。身近なエリアで家庭や地域連携に関する課題を話し合い、地域活動の推進と連携を進めていく場です。

2025年度中野中学校区地区懇談会

- 代表 桃園地区民生児童委員 荒岡めぐみ会長
- 副代表 中野中学校 竹之内勝校長
- 構成団体
〈中野中学校区内〉小中学校、小中学校 PTA、高等学校、幼稚園、保育園、こども園、キッズ・プラザ、学童クラブ、町会(子供会)、地区委員会(新井・昭和・野方・桃園)、民生児童委員・主任児童委員、保護司、次世代育成委員、すこやか福祉センター等

開会挨拶 桃園地区民生児童委員 荒岡会長



この会は保育園・学童クラブ・小・中学校、PTA の方、地域の方等いろいろな方々とざっくばらんに話ができるとても良い会だと思っています。今日もみなさんとたくさんお話ができることを嬉しく思います。よろしくお願いたします。

グループ懇談(地域ネットワークに求めるもの)

「地区懇談会」は地域の中で様々な立場の方々が「知り合い」「つながる」関係づくりを目指しています。今回は、懇談の時間を長く取り「地域でのネットワーク」をテーマに各団体で行っていることや日頃考えていることをざっくばらんに話し合いました。以下はそれぞれのグループで話された内容の抜粋や感想です。

不登校 行きしぶり

○「親の真剣さが子どもに通じると思いますが」の言葉が印象に残った。

○保育園での「遊びと生活の一致」という言葉が印象に残った。小中学校においてもその言葉を原点に「学習」を加えていけるよう個々への配慮が必要と感じた。

○「居場所」と「受け止める存在」が子どもを支えている。保護者・学校・地域が連携してそのような存在となる。○親だけでなく学校や地域も子どもたちと向き合うことが大事。

各団体の 活動

○民生委員の方が温かい雰囲気地域の子どもたちを見守っている話が印象的だった。

○青少年育成地区委員会、次世代育成委員の活動は、子どもたちのために純粋に思って活動していると感じた。

○行政の手が届かないところも地域の方、ボランティアの方が支えている。

○子どもだけでなく大人も繋がって広がっていく。楽しいことが大切。

○中野区が子育てしやすい、子どもにやさしい街になるようには、どうしたら良いか考えていきたい。
○子どもたちの居場所が減っている。
○学年が上がると大人のいる場所には寄り付かない？
○中学生の放課後の居場所はどこにあるかみんな知らない？タブレット等を使用して居場所の一覧等が配信できると良い。

こどもの居場所

○ボランティアへの初めの一步を楽にしてあげることは地域の大人の役割。
一步が踏み出しやすい地域を志そうと話されました。
○夏休みのイベントとしてのラジオ体操を中学生のボランティア体験として活用してほしい。
○ボランティアをする場合の安全面の保障(保険など)が必要になっている。
○ボランティアを希望する時に担当者に直接電話するのはハードルが高そうなので、できるだけQRコードから申し込めるようにできるとよい。町会ができなくても誰かが助けていくことも必要ではないか。

中学生ボランティア



地区懇談会に参加して(感想)

○困ったことなどの話が聞けた。それぞれの解決策があると思った。
○楽しい時間をありがとうございました。

今後地区懇談会で話したいこと

☆中学生の居場所づくり☆子どもたちの居場所となっている様々な施設見学及び施設の方からの生の声を聞きたい☆各施設子どもの安全となる場所・居場所を地図に落とし情報共有☆子どもの目線を知るということで、ボランティア体験を経験した子どもたちの話を伺いたい☆イベントを楽しむ側から楽しみを提供する側へはどうしたらよいか。

懇談のまとめ抜粋 中野中学校 竹之内校長先生

グループ懇談で登校しぶりや中学生ボランティアの話などをして、まさに今小・中学校で話題となる内容を地域で共有していただいているんだと感じました。中野中でコミュニティースクールが始まって2年。ゆっくり一步一步進めて発展させて頂けたらありがたいと思います。
今後も地域の子どもたちのために、地域で子どもたちを育て、良いスパイラルが生まれると良いなと思っています。

《中野中学校区地区懇談会事務局》
次世代育成委員
中井千鶴 小林久美子
大月啓介
野方児童館
TEL3387-8836
文園児童館
TEL3367-8106

○どのような工夫が地域づくりに影響を及ぼすか様々な視点から考えることの大切さを改めて感じ印象に残った。
○「よいタイミングで人が切り替わる」、「好きなことしかやらない」おやじの会のスタンスが長く続く秘訣。
○地域でのラジオ体操の重要性が話された。どの地域でも共通してできること地域でのつながり、社会性を育む場所である。
○有償ボランティア→ポイントという形をとる仕組みを考えていくとよいのでは。
○地域活動のメリットを見える化する。メリットがあれば人は動く。
○結局は繋がり・コミュニケーション。
○ボランティア団体の横のつながりが必要。

地域活動担い手



○学校と地域、持ちつ持たれつ「子どものために」を大切に繋がりを大切にしていきたいと改めて感じた。
○イベントを通して地域と保育園がつながって連携している話があった。
○学童クラブの方のお話で、地域を知るために、通学路を子どもが通る時間に歩いてみるという試みは良いと思いました。

地域のつながり

懇談会メンバーの皆様へ※昨年度に続き地域のお知らせをオープンチャットで共有できるようになりました。ご活用ください。